

施策評価調書(27年度実績)

施策コード | II-4-(2)

政策体系	施策名	おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の振興	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	113
	政策名	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	関係部局名	企画振興部、生活環境部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④	⑤
取組項目	観光人材の育成・確保	おんせん県ならではの素材磨きによるブランドイメージの確立	観光消費の増大につながるサービスや商品の開発促進	観光関連産業の持続的成長と雇用拡大	景観の保全・再生とツーリズム基盤の整備

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 観光入込客数(千人)	①②③ ④⑤	H25	17,563	18,500 (H26)	18,904 (H26)	102.2%	20,150 (H30)	20,850 (H35)						
ii 観光消費額(億円)	③	H25	2,072	2,090 (H26)	2,247 (H26)	107.5%	2,357 (H30)	2,564 (H35)						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	国内外に向けた情報発信を強化し、おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン等の取組を官民一体となって進めたことなどにより、目標値を達成した。			達成
ii 達成	ブランド力向上を図るとともに、地域資源を活用した商品開発などにより、目標値を達成した。			

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいだツーリズム大学の修了生が219名となった。
②	・H27年12月に開催した「おおいだジオ『うつくし』フォーラム」の中で、姫島村・豊後大野市の両ジオパーク等のエクスカージョンを実施し、ジオパークの魅力情報を発信した。
③	・県内各地の体験型旅行商品をインバウンド向け旅行商品販売サイトで販売した。
④	・(公社)ツーリズムおおいだが日本版DMOに登録され、交流人口の拡大によるさらなる地域活性化を図る基盤が強化された。
⑤	・良好な景観形成に資するため、宇佐市において無電柱化の取組を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	ツーリズム戦略総合対策事業	116,935	A	終了	18
②	おおいだジオパーク推進事業	39,000	A	継続・見直し	72
③	インバウンド推進事業	71,805	A	継続・見直し	15

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回大分県新長期総合計画策定県民会議 (H27.6)</p> <p>・インバウンドも大事だが、まずは国内観光客の確保が大事。デスティネーションキャンペーンでのおもてなしサポーターを継続して育成し、国内観光客に対してしっかりとおもてなしができればインバウンドにも自信をもって対応できると思う。</p>	<p>○第3回大分県新長期総合計画策定県民会議 (H27.9)</p> <p>・交通機関、ウナギのせいり蒸し、川下りなどがセットになった売り込みをしている柳川のコラボレーションは素晴らしい。JRや農林水産業、商業、観光業などがお互いに連携をすれば、大分県はもっとやれるのではないかと。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・「大分県ツーリズム戦略2015」にある戦略の着実な推進に努める。</p> <p>・おおいだツーリズム大学等により観光・地域づくりを担う人材の育成を引き続き行うとともに、観光案内所などの相互連携を促し、広域的な観光案内体制の強化を図る。</p> <p>・大分県ならではの素材磨きを引き続き実施するとともに、地域企画商品販売サイトの活用などにより、観光消費額のさらなる増大を図る。</p>